

2026.4.23

見附市教育センターだより

4



「**学びの喜び**」をともにつくる伴走者として
教育センター所長 遠藤 哲也

見附市教職員の皆様におかれましては、令和八年度の輝かしいスタートを、新たな決意と情熱をもって迎えられたことと存じます。当センターは、今年度も子どもたちを「どまんなか」に据え、先生方一人ひとりの情熱と専門性を支える拠点として、新たな歩みを進めてまいります。

本市には、長年大切に守り続けてきた二つの教育理念があります。「ふるさと見附を愛する子ども」と「世に役立つことを喜びとする子ども」の育成です。この二つは、予測困難と言われるこれからの時代を生き抜くための確かな基盤となります。ふるさと見附に主体的に関わろうとすることと、他者と手を取り合いながら、より良い社会を創り上げようとすることは、生涯にわたる学びの原動力になるはずで

す。現在、中央教育審議会では、次期学習指導要領に向けた論点整理が進められています。そこで強調されているのは、単なる知識の習得に留まらない、「個別最適な学び」と「協働的な学び」のさらなる一体化、そして「情報活用能力」を基盤とした探究的な学びの充実です。自ら課題を見つけ、他者と対話しながら納得解を導き出していく力。これらの力を子どもたちに身に付けてもらうためには、教職員の資質、指導力の向上が欠かせません。そのために、当センターの「師がく」「4時から夢塾」を初めとする各種研修を積極的に受講してほしいと考えます。研修は、単なる技術習得の場ではなく、日々の悩みを共有し、授業実践を省察しながら、教育の専門家としての誇りを再確認する場でもあります。見附市内の子どもたちから「先生、分かった！」「もっと考えたい！」といった声が響く授業を、共につくりたいと願っています。

一方、現代の子どもたちが抱える課題は多様化・複雑化しています。学校に行きたくても、学びたくても困難を抱えている、そうした子どもたちを誰一人として取り残してはなりません。家庭や地域と手を取り合いながら、いつでも安心して学べる居場所の充実に全力を挙げています。教育支援センターでは、すこやかルーム、ふるさと教育支援センター、フリーラボみつけを設置・運営したり、訪問教育支援を行ったりしながら、心に不安を抱えた子どもに丁寧な対応をしていきます。

子どもたちに笑顔を届けるためには、まず教職員の皆様が笑顔で、自信をもって教壇に立っていることが何よりも大切です。皆様の心身の健康と、キャリアに対する誇りは、本市の教育にとって大きな財産です。皆様が過度な不安や負担を抱え込むことなく、目の前の子どもたちと向き合う時間を大切にできるよう、当センターは全力で伴走します。迷ったときや新しい挑戦をしたいときに、いつでもご相談ください。子どもを育む本質である不易を大切にするとともに、時代の要請に応える最新の知見を取り入れながら、教職員の皆様と共に歩んでまいります。今年度も、見附市の子どもたちの輝く瞳のために、心を一つにして取り組んでまいりましょう。



桜を咲かせる 組織の共鳴

ベテラン教師であっても、新しい学校に来た一年間は「まるで他所のこどもを育てているようだ。(自分の家のこどもを育てているように、何もかもが分かったようにはとてもできない。)」と思われるものです。勤務初日からたくさんの方の会議資料の説明があったと思います。個別のこどもに関する担当者との情報交換や校務分掌の打合せもあったことでしょう。情報の軽重の見当や時間的な見通しがもちにくい転入職員は、一段と大変だと思います。それでも不思議なことに一年経つと翌年は格段に楽になり、すらすらと情報が頭に入ってくるものです。

さて、今年も見事に桜が開き、新入学の児童・生徒を祝ってくれました。

桜が咲くときは一斉に蕾が膨らみ、花が開きます。一本一本の桜は、地下茎が発達したハマヒルガオのように、地面の下でつながっているわけではありません。それなのに一斉に開きます。

全国の桜の八割はソメイヨシノだと聞きました。ソメイヨシノは江戸時代後期、現在の豊島区駒込あたりにあった染井村の植木職人によって作り出されたといわれています。しかし、ソメイヨシノ同士では交配することができず、挿し木や接ぎ木という方法でしか増やせないため、1本のソメイヨシノの原木から現在の本数までに増やしていきました。ですからDNAが同じなのです。

野生のヤマザクラのように、異なる遺伝子ならば個体によって開花のタイミングは違いますが、ソメイヨシノはクローンであるが故に、遺伝子情報が同じです。花芽を花に成長させる化学物質が反応する気温が揃っていて、地域や気候条件がそろえば一斉に咲き始め、満開となります。

学校の先生方もソメイヨシノと同じなのかな。春は大切な申し合わせや確認が続きます。大量の情報を正しく得て共有することで、学校の教育活動が「一斉開花」します。その結果、実効性のある取組となって成果に繋がったり、重要な事柄の漏れ落ちを防いだりします。学校がチームで進むためのはじめての一步が情報の共有です。

「学校教育の基盤となる安心や信頼」や「合理性」のために、これだけは押さえておきたいという内容は、決して少なくはありません。しかし、この春に情報を揃え、同一歩調で丁寧に取り組むことで、きっと各校の教育の「満開」につながっているのだと思います。

ただ残念なことに、ソメイヨシノはクローンであるために、病気に耐えられず抵抗力がないといわれています。有識者によると、「他の山桜や大島桜はいろいろ病気にかかったとしても、それに耐える力をもっている。だがソメイヨシノは新しい病気に抵抗する力はない」のだそうです。

学校もいくら一斉にといっても、それが前例踏襲に終始しては、今日的な課題に適切に対応していく力は育たないのではないのでしょうか。組織を強くする方法は「補強と育成」だといいます。新しい学校組織が動き出して数週間。それぞれに「新鮮なる継続」によって教育を前に進め、こどもの笑顔に繋げてほしいと切に願います。



4. 8 見附小学校 緑の園

教育の土台は「人と人のつながり」です。若手の先生方に、あなたの学校の主任層(ベテラン)はどこがすごいのですか?と何度か聞いたことがあります。「こどもの変化を察する目」「トラブルを笑い飛ばす余裕」「行事の肝を見抜く視点」……これらはどれもマニュアルにはないベテランの力です。

若手にとって、先輩が定時に帰ったり、無理せず笑っていたりする姿は、何よりの安心材料になります。「頑張りすぎないこと」もベテランの大切な役割の一つ。心身の元気を最優先に、マイペースでいきましょう! 教育センターは若手からベテランまで全ての先生の「味方」です。「ちょっと話を聞いてほしい」「聞かせてほしい」など、何でもウェルカムです。いつでも気軽に一報ください。知らないこと以外でしたら何でも知っています。(^^)今年度も先生方が笑顔で過ごせるよう、精一杯応援します!



こどもの命と心を保護する組織的レジリエンスの構築に向けて

京都府南丹市の事件は、あまりに痛ましく、言葉を失うような悲しい結末となってしまいました。心からご冥福をお祈りいたします。11歳という若さで、未来あるこどもの命がこのような形で失われたことは、こどもたち、そして保護者に深刻な心理的衝撃を与えています。

生活科第1学年の導入において「登下校の安全」が学習の端緒に置かれているのは、学校生活の成立要件が物理的・心理的な安全保障にあるからに他なりません。

かつての生活科は、社会科と理科を統合した教科として「具体的な活動や体験」を通じた自立を促すことが主目的でした。「春を見つけよう」「学校を探検しよう」といった、身近な自然への親しみや学校施設への適応を主眼とした単元が年度当初の内容として一般的でした。

しかし、相次ぐ通学路での凶悪事件や交通事故を受け、文部科学省の学習指導要領解説においても「安全な生活」に関する記述が強化されました。現代の小学1年生にとって、まず習得すべき「生活の知恵」の最優先事項が、春の草花を探すこと以上に「無事に家に帰ること」になったという、教育現場の切実な要請が反映されています。

特に本県においては、新潟市西区で8年前に発生した「新潟小2女児殺害事件」の記憶が教育現場や地域社会に深く刻まれており、高学年や中学生が抱く潜在的な不安やフラッシュバックの可能性を、我々は改めて受け止める必要があります。

春季は急激な環境変化に伴い、自律神経やホルモンバランスの恒常性(ホメオスタシス)が維持しにくく、心身の心理的脆弱性が顕在化しやすい時期であることが明らかになっています。特に大型連休明けは、緊張の緩和と生活リズムの変動が重なり、不測の事態や児童の内面的な動揺が行動変容として表出するリスクが高まります。「身近な大人が加害者だった」という報道は、こどもたちが社会に対して抱く根本的な信頼感(基本的信頼)を揺るがしかねません。

今、教職員に求められるのは、こどもの微細なサインを察知する「臨床的な眼」です。単なる物理的な見守りに留まらず、学校が絶対的な「安全基地」であることを保障し、こどもの語りに真摯に耳を傾ける姿勢が不可欠です。食欲がない、口数が減った、逆に過度に騒ぐ、甘えるといった「いつもと違うサイン」を見逃さないことです。特に、家庭環境に課題を抱えるこどもにとっては、今回の報道が自身の環境と重なり、強いフラッシュバックを起こす可能性があります。担任、養護教諭やスクールカウンセラーがいつでも話を聞ける状態であることを、学級だよりなどを通じて改めて周知してもよいでしょう。

そして、学校は「非日常」のニュースが入り込んできた際、いかに「日常」を維持できるかが鍵となります。「いつも通り」を徹底し、授業や行事を淡々と、かつ温かく進めることが、こどもたちの動揺を鎮める最も効果的な薬になります。加えて、こどもに関する校内での情報共有ラインを堅持するとともに、事件が起きてから慌てるのではなく、「フェーズフリー」な安全教育の再確認をすることです。

ソーシャルキャピタルの高いまちづくりを標榜している見附市には、たくさんの学校応援団の方がいらっしゃいます。日頃の登下校指導や地域との連携の中に、各校は「無理のない見守り」を組み込んでいると思います。ありがたいことです。教育センターとしても、専門的な知見の提供等を通じて、現場の先生方と共にこどもたちの命と日常を守り抜く所存です。(ま)

【お詫びと訂正】

見附市教育センターだより2025年5月号(令和7年5月21日発行)の『「重遠橋」を知っていますか?』という記事の3段落目において、引用元に誤りがございました。正しくは以下の通りです。お詫びして訂正いたします。なお、新版見附文化財散歩(2010)においては記載されていないことを申し添えます。

・誤 :見附市史によると

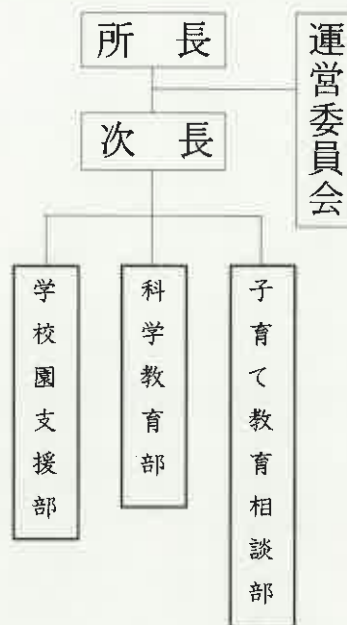
・正 :見附文化財散歩(1993)によると

令和8年度 見附市教育センター組織

運営委員会

委員	近藤 芳生	(教育部長)
	本間 貴子	(新潟小学校校長)
	澤田 義則	(西中学校教頭)
	恩田 真太郎	(見附小学校教諭)
	鎌田 雅俊	(見附中学校教諭)

教育センター組織図



教育センター スタッフ

所長	遠藤 哲也	(学校教育課長)
次長	松井 謙太	(嘱託指導主事)
学校園支援部	外山 孝	(嘱託指導主事)
同上(学教兼務)	倉上美津枝	(嘱託指導主事)
同上(学教兼務)	多田 茂	(嘱託指導主事)
科学教育部	佐藤 和彦	(嘱託指導主事)
(協力員)	槇田 宏治	(見附中学校教諭)
子育て教育	小川 義実	(教育支援員)
相談部	大高恵美子	(訪問教育支援員)
センター事務	久保田真里子	(事務職員)

学校園支援部

【業務】

- ア 学校及び園の運営に係る職員の資質・指導力向上を図る専門的実践的な研修に関すること。
- イ 定期及び要請による学校及び保育園への訪問相談及び指導に関すること。
- ウ その他 教育及び保育の振興に関すること。

松井謙太	外山 孝	佐藤和彦 槇田宏治	倉上美津枝	多田 茂
・学校訪問 ・要請訪問 ・師がく ・教育相談 ・指導力向上ドック				
・教育センター業務推進 ・4時から夢塾 ・教育センターだより ・教科書センター	・幼保小中連携 一貫教育推進 ・就学支援、教育相談 ・みつけこども大学	・科学教育の振興 ・各種研修会 ・土曜科学教室 ・みつけ塾の活用 ・ふしぎ発見！ 科学教室	・健康教育 (SWS 事業) ・特別支援教育 (就学支援、相談対応、研修会)	・いじめ・不登校 他児童生徒問題 ・心の教室相談員 ・外国語、外国語活動の推進 ・ALT 活用関係

子育て教育相談部

【担当】 小川 義実 ・ 大高恵美子

- 【業務】
- ア 心身の発達、不登校、いじめ等に関わる児童生徒、保護者及び教育の相談に関すること。
 - イ 見附市教育支援センター(すこやかルーム)の運営及び訪問教育支援に関すること。
 - ウ 教育相談及び就学支援に関すること。
 - エ 保育園、子育て支援センター等の相談に関すること。

* 科学教育部の業務は後掲

令和8年度「四時から夢塾」予定

	氏名	所属	講座テーマ	日時
1	川崎 智也	今町小学校 教諭	学級づくりのスタート ~1学期末までを見通して~(オンライン)	4月27日(月)
2	長谷 一弘	県立教育センター 指導主事	学習指導要領 理科の解説(授業改善)	5月15日(金)
3	松添万里子	キャッツこどもクリニック心理師	不登校傾向のこどもの心	6月18日(木)
4	伊藤 巨志	新潟県立大学 教授	運動感覚の獲得(名木野小学校:体育館)	6月25日(木)
5	長谷川 徹	見附特別支援学校 校長	特別支援教育	7月8日(水)
6	長澤 正樹	新潟大学名誉教授	特別支援教育 夏季特別講座(90分)	8月5日(水)
7	寺島 幸優	心理カウンセラー	こどもと保護者への寄り添い方(夏季特別90分)	8月27日(木)
8	川崎 智也	今町小学校 教諭	学級経営Ⅱ(困り感に 대응する)(オンライン)	9月初旬
9	五十嵐健太	見附小学校教諭 GIGA 研修	オクリンク+ こどもの考えを見える化する	10月2日(金)
10	比護 智洋	見附中 教諭 教科教育専門監	小中連携を意識した算数数学指導	夏休み中
11	鎌田 雅俊	見附中 教諭 教科教育専門監	外国語活動	9月17日(木)
12	岡田 順子	名木野小学校 教頭	学級経営Ⅲ(オンライン)	12月中旬
13	長谷川 仁	新潟大学附属長岡小学校	示範授業1 (国語)会場:名木野小学校	2学期を予定
14	荒井 拓郎	新潟大学附属長岡小学校	示範授業2 (算数)会場:葛巻小学校	2学期を予定
15	渡邊健太郎	新潟大学附属長岡中学校	示範授業3 (数学)会場:見附中学校	2学期を予定
16	宮田 優美	新潟大学附属長岡中学校	示範授業4 (国語)会場:西 中学校	2学期を予定

*時間や会場、詳細な内容等、研修案内を実施日の1カ月前までに出す。(Plantで募集する)

*講座1、8、12の5講座は、オンライン(講師は自分の学校から)で実施する。

令和8年度 年度の重点

- ◇ 喫緊の課題を講座に設定した。⇒ 希望者が参加し易い、職場の雰囲気を作っていただきたい。
- 優れた実践者・研究者等を招へいし、わかる・楽しい授業づくり、居心地の良い学級づくり講座の実施
 - ・新潟大学附属長岡小学校・中学校教員による示範授業の実施
(実施日は、授業者と実施校の都合を確認して決定する。決まり次第、案内をする。)
 - ・大学教授による運動技能向上講座
 - ・タブレット端末活用(GIGA)講座は、市内の優れた実践者を指導者に、示範授業の実施
- 特別支援教育講座・・・特別支援教育担当者のみでなく、全教員に理解と指導力を培ってほしい。
- こども・保護者への寄り添い方の講座(不登校や人間関係づくりが苦手な子への支援のための研修)
 - ・上手なこどもへの寄り添い方・関わりの実技研修の実施
 - ・保護者への寄り添い方(対応)についての講座も実施
- こどもの心身の発達の確かな理解講座
 - ・実際に小中学生の指導や相談に携わっている心理カウンセラーによる講座
- ◇ 全講座とも希望制で実施。ただ、研修制度(プラント)に伴い、「〇〇主任」と、薦める講座もある。
 - *たとえば、講座1、8、12…教職経験の少ない先生はぜひ
 - 講座3、7…養護教諭、学級に気になる子のいる担任はぜひ等

4月

科学教育部



花卉が六枚の梅(市役所前)

- 【業務】 ア 理科教育に関わる専門的・技術的な事項の調査・研究および教職員研修に関すること。
 イ 理科教材・教具、その他資料の収集および管理に関すること。
 ウ その他、理科教育の振興に必要な事項に関すること。

【担当】

嘱託指導主事
佐藤 和彦



協力員
横田 宏治
(見附中学校教諭)



令和8年度 科学教育部 兼任所員の先生	
学校名	兼任所員
名木野小	森野 敦士
今町小	桑原 佑衣
見附中	島岡 駿
南中	玉枝 星哉

【見附の子どもたちのために 理科の充実を目指しましょう】

・単元の具体的な指導方法を知りたい

→学習指導要領に沿った単元別研修を実施します。

・野外観察に出かけたい

→植物観察研修・野外観察研修をご活用ください。

・教材・教具を貸してほしい

→科学教育部の備品を貸し出します。各校に常設のないものも利用可能です。



要請研修会および要請訪問も受け付けています。次のような場合にご活用ください。

<要請研修会>

- ・研修会に参加したいけれど日程の都合がつかない場合。
- ・担当学年での理科指導に不安がある場合。
- ・実験方法がわからない、または予備実験がうまくいかない場合。

<要請訪問>

- ・科学クラブや PTA 活動での専門的な指導をしてほしい。

教育センター科学教育部 担当：佐藤・横田

TEL・FAX 62-2343

E-mail mitsuke.risen@edu-niigata.ed.jp

新 C4th の連絡・共有

「教育委員会 教育センター」

【令和8年度の研修会】

次ページに詳細を掲載しています

- ※1 単元別研修会の開始時刻は、授業後に参加しやすいよう、原則として 15:40 から設定しています。
- ※2 各研修への申し込みは、理科主任の先生に参加希望の旨をお伝えいただき、お申し込みください。

① 単元別研修会(会場は全て「見附市教育センター 2階 実験室」です。)

	研修会名	関連単元	日時	内容
1	身近な回路の探究	小4・ 電気のはたらき 中2・ 電流・電圧・抵抗	05月07日(木) 05月08日(金) ※ 同じ内容を2日間実施	モーターと電池を使う単元で応用できる実習を行います。 ★お土産 「回路の学習で役立つグッズ」
2	魚類(メダカ)の探究	小5・ 魚のたんじょう 中2・ 心臓のはたらき	05月21日(木) 05月22日(金) ※ 同じ内容を2日間実施	メダカを教材として活用するために必要な内容について実習を行います。 ★お土産 「メダカの卵・針子」「ミジンコ」
3	チョウの探究	小3・ チョウを調べよう 中3・ 食物連鎖	06月04日(木) 06月05日(金) ※ 同じ内容を2日間実施	チョウの飼育や昆虫に関する実習を行います。 ★お土産 「作成した標本」「キャベツの苗」
4	科学研究の進め方	小中・ 科学研究の指導 小中・ 科学ががの指導	07月02日(木) 07月03日(金) ※ 同じ内容を2日間実施	科学研究の進め方に関する実習を行います。 ★お土産 「科学研究の進め方パワーポイント」
5	実験計画の立案	小6・ 水溶液の性質 中1・ 溶質の分類	08月27日(木) 08月28日(金) ※ 同じ内容を2日間実施	実験計画の立案のポイントについて実習を行います。 ★お土産 「実験計画グッズ」
6	月の満ち欠けの探究	小6・ 月の形と太陽 中3・ 月の満ち欠け	09月03日(木) 09月04日(金) ※ 同じ内容を2日間実施	月の満ち欠けに関する実習を行います。 ★お土産 「天体学習グッズ」
7	磁界の探究	小5・ 電流と電磁石 中2・ コイルと磁界	10月08日(木) 10月09日(金) ※ 同じ内容を2日間実施	電磁石や磁界に関する実習を行います。 ★お土産 「製作したグッズ」
8	秋のおもちゃづくり	生活・ 秋のおもちゃづくり 小中・ 実や種子の活用	10月22日(木) 10月23日(金) ※ 同じ内容を2日間実施	秋に関連するおもちゃづくりの実習を行います。 ★お土産 「製作した作品」
9	溶解の探究	小5・ もののとけ方 中1・ 再結晶	11月26日(木) 11月27日(金) ※ 同じ内容を2日間実施	溶解や再結晶に関する実習を行います。 ★お土産 「実習で使用したグッズ」
10	燃焼の探究	小6・ ものの燃え方と空気 中2・ 酸化	01月28日(木) 01月29日(金) ※ 同じ内容を2日間実施	燃焼に関する実習を行います。 ★お土産 「実習で使用したグッズ」

② 野外研修会(会場は全て異なります。)

	研修会名	日時・会場	内容
1	植物観察会 講師:五百川 裕 様 (上教大教授)	6月2日(火) ①見附中学校 15:00~15:30 ②見附小学校 16:00~16:30	見附中学校と見附小学校の校庭をフィールドに、植物観察会を行います。校庭の植物を観察し、野外活動での活用のヒントをいただきます。
2	野外研修会	7月31日(金) 9:30~11:30 (予備日はありません) 会場:市民の森	身近な昆虫である「アリ」の採集の仕方・種同定の視点・標本の作り方に関する実習を行います。
3	天体観測会	10月19日(月) 18:30~19:30 (荒天の場合は中止) 会場:教育センター	天体望遠鏡の使い方、宇宙単元で活用できる教材について実習して、月と土星が接近している様子を観測します。

【児童・生徒を対象とした事業】

[見附市児童・生徒科学研究発表会]

期日:10月1日(木) 会場:見附市中央公民館

[見附市児童・生徒夏休み作品展]

期日:9月26日(土)~9月27日(日) 会場:ネーブルみつけ

長岡地域理科教育センターが公開している「長岡市校庭の樹木マップ」に見附市立中学校の4校のデータも入力しています。QRコードを読み込めば、校庭の樹木の位置と名前がわかります。理科だけでなく、総合的な学習等にも活用できます。

順次、編集を行い、見附市立小学校や特別支援学校の校庭の樹木データを追加した際には、またご連絡します。



校庭の樹木マップの例→
(今町中学校 玄関前)

←校庭の樹木マップ
(閲覧用)



TeaRoom 内の「理センコミュニティ」をご活用ください!

<理センコミュニティの参加方法>

- ①新潟県立教育センターのHPなどからTeaRoomにログインする。
- ②一番上の「コミュニティ」から、「理セン 授業・教材 アイデア集」を検索する。
- ③「コミュニティに参加」を押す。
- ④トピック一覧から資料を探す。



Tea Room 内のコミュニティ

「理セン 授業・教材アイデア集」

例えば、次のような資料があります!

- ・蒸留実験におけるエタノール濃度を数値化する方法
- ・袋栽培のジャガイモを利用したでんぷんの抽出実験
- ・塩酸にアルミニウムを溶かす実験を早く終わらせる方法
- ・「月の観察」への意欲を喚起する『月齢カレンダー』
- ・安価で容易に作製できる望遠鏡

今すぐチェック!